

1 学校長あいさつ 校長 渡部朋史

地域探究「猪苗代学」。観光・農業・防災に焦点を当てた体験的、課題解決的な学習活動で、本校の特色である教育活動です。地元を知り、課題を見つけ、その解決策を地域の皆様との交流等を通し模索し、実践する。そのことで、地域に貢献できる人材の育成を目指しています。4月に本校に赴任しましたが、この4ヶ月で、たくさんの地域の方々のご協力を得ながら、生徒たちが成長していく姿を見ることができ、うれしく思っています。また、本年度から高等学校と地域が連携・協働して学校を運営していくコミュニティ・スクールに指定されました。この制度も活用し、より充実した地域探究「猪苗代学」を目指していきたいと思えます。

めざす学校像は、「一人一人の生徒の良さを引き出す学校」です。毎日の授業や諸活動を大切にしながら、一人一人に応じた丁寧な指導をしてきたいと思えます。全職員心を一つに努力していきますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。

めざす学校像 「一人一人の生徒の良さを引き出す学校」

- ☆ 地域を学びの題材とした学習活動の実践
- ☆ 生徒の知的好奇心を刺激し、基礎学力の定着を図る質の高い授業の実践
- ☆ 生徒の主体的な活動を促し、生徒自ら発信する活動の充実
- ☆ 生徒の良き人間関係や豊かな心を育むための学校行事の充実

2 生徒数 令和3年度 7月1日現在

| 学年 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1組 | 計 | 1組 | 計 | 1組 | 2組 | 計 | |
| 男 | 10 | 10 | 17 | 17 | 13 | 8 | 21 | 48 |
| 女 | 8 | 8 | 5 | 5 | 11 | 5 | 16 | 29 |
| 計 | 18 | 18 | 22 | 22 | 24 | 13 | 37 | 77 |

3 学校生活の様子 (1学年)



1年生の猪苗代学では、農業体験や防災についての学習をしています。農業体験では、班ごとでさまざまな活動をしています。1学期は、トマトの苗を植えたり、アスパラに農薬をまいたりしました。今後は、トマトやキュウリの収穫をする予定です。

防災学習では、磐梯山噴火記念館で噴火についての講話を聞いたり、館内を見学したりして噴火について深く学ぶことができました。また、



また、磐梯青少年交流の家では防災・減災合宿を行いました。HUG(ハグ)訓練という避難所を運営する訓練や飯盒炊飯でお昼ご飯を作る体験もしました。他には、消防、警察、社会福祉協議会などの方々の講話を聞きました。この合宿からたくさんのことを学ぶことができました。

4 地域探究の様子（2学年）

校庭の開墾作業

現在は校庭を掘り起こし、畑を作る開墾作業をしています。土が固く掘るのに時間がかかりました。

磐梯山をよくするための活動

磐梯山をよくするための活動では、磐梯山ジオパークの方々に協力してもらいました。磐梯山の登山道の舗装や看板作りをすることで、登山客の皆さんに、安心・安全に登山をしてもらうことを目標としています。



5 「福島創生サミット」開催

令和3年4月27日（火）に福島県教育委員会主催で福島創生サミットが開催され、地域課題研究に取り組んだ県立高校78校が参加し、猪苗代高校の代表として山口 翔さんが発表してきました。福島創生サミットでは、各校で取り組んでいる地域課題探求活動や地域の現状を知ること、地域と協働し課題解決へと取り組むためにどうすれば良いのかを協議しました。

翔さんの感想

「福島創生サミットで他校の皆さんと学び共用したことを今後の授業、地域活性化に活かしていきたいです」



6 生徒会長（大木みやさん）



にインタビュー!!!

猪苗代高校の良いところベスト3

- 1、学校独自の授業（農業体験、地域探究、普通科での商業の授業）
- 2、先生と生徒の距離が近い（仲がいい）
- 3、少人数授業だから一人ひとりに丁寧に勉強を教えてくれる

みやさんにインタビューしたところ、少人数ならではの特徴が多く上げられました。普通科の学科では商業系の授業も行っており、情報処理検定など資格取得もできます!!



7 猪苗代高校OBの活躍

福島県警察本部 警備部長就任 安齋 浩明 様

発行者 猪苗代高校活性化委員会 会長 前後 公（猪苗代町長）

編集 福島県立猪苗代高等学校 生徒会出版委員会

（本年度より生徒たちが作成編集しています）

電話 0242-62-3125 ホームページ <https://inawashiro-h.fcs.ed.jp/>